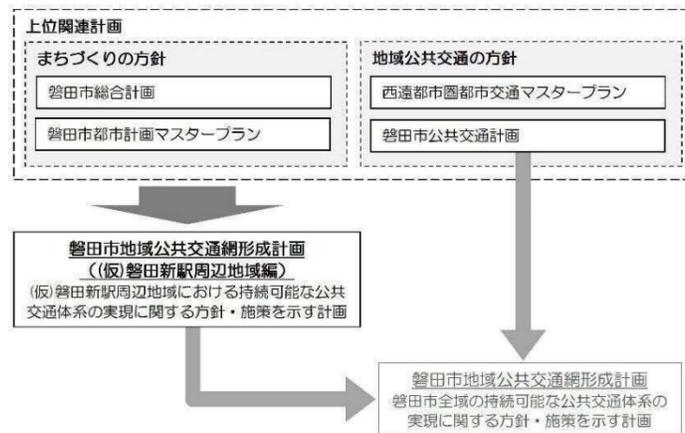


磐田市地域公共交通網形成計画((仮)磐田新駅周辺編) - 概要 -

平成 29 年 6 月

本編 P2

計画の位置づけ



本編 P84～86

計画期間

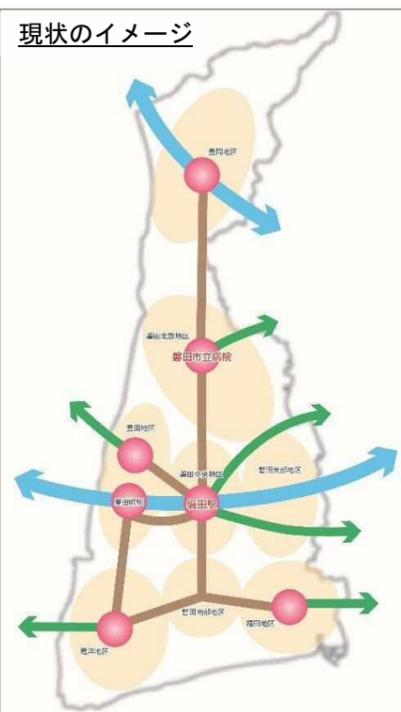
平成 29 年度～平成 33 年度 (5 年間)

計画区域

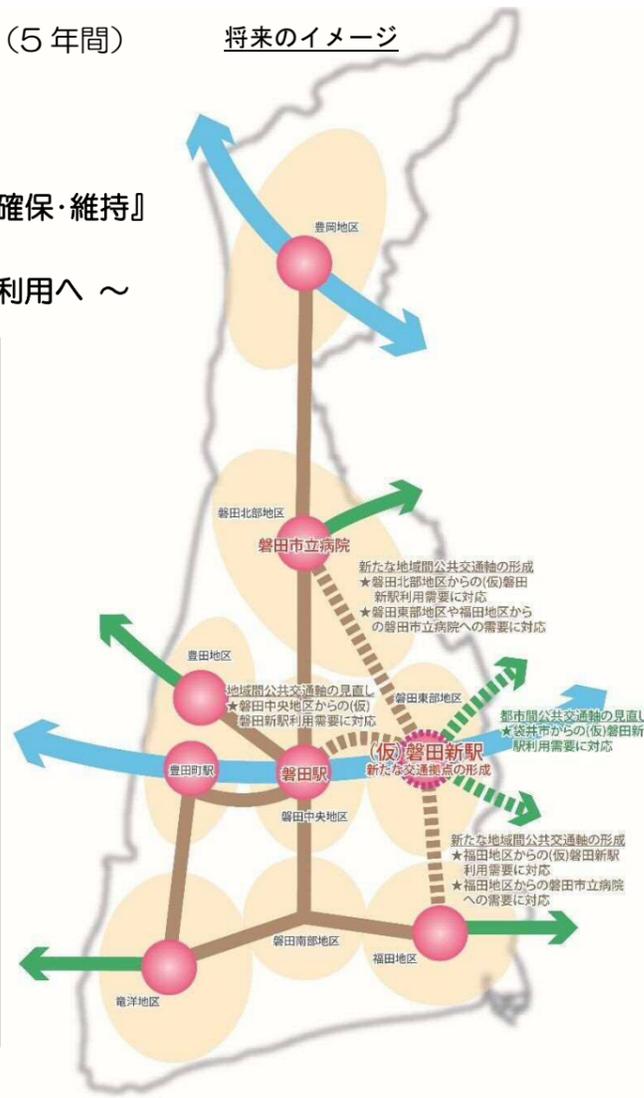
(仮) 磐田新駅周辺地域

基本方針

『住みよい新しいまちを形成し、
地域が支える持続可能な地域公共交通の確保・維持』
～ 新駅整備を契機にマイカー利用から
地域公共交通の利用へ ～



将来のイメージ



本編 P87

基本方針に基づく目標

- 目標 1 : (仮) 磐田新駅における新たな交通拠点の形成
目標値 : (仮) 磐田新駅への路線バス乗り入れ本数 : 43 便/日以上
- 目標 2 : 誰もが使え、持続性のある、環境にやさしい生活交通サービスの確保・維持
目標値 : 磐田東部地区において磐田市が運行する地域公共交通の平均乗車数 : 1.25 人/台以上

本編 P88～100 ※課題の内容は P81～83 参照

目標を達成するために行う事業

課題

- ①(仮) 磐田新駅の整備や新たな開発に対応した公共交通網の再編が必要
- ②ニーズに即した継続的な運行改善が必要
- ③継続性の高い生活交通サービスの確保・維持が必要
- ④地域で守り育てる体制の構築が必要
- ⑤市全体の公共交通に関する新たな計画の策定が必要

※実施事業の実施主体、計画期間、事業概要は本編参照

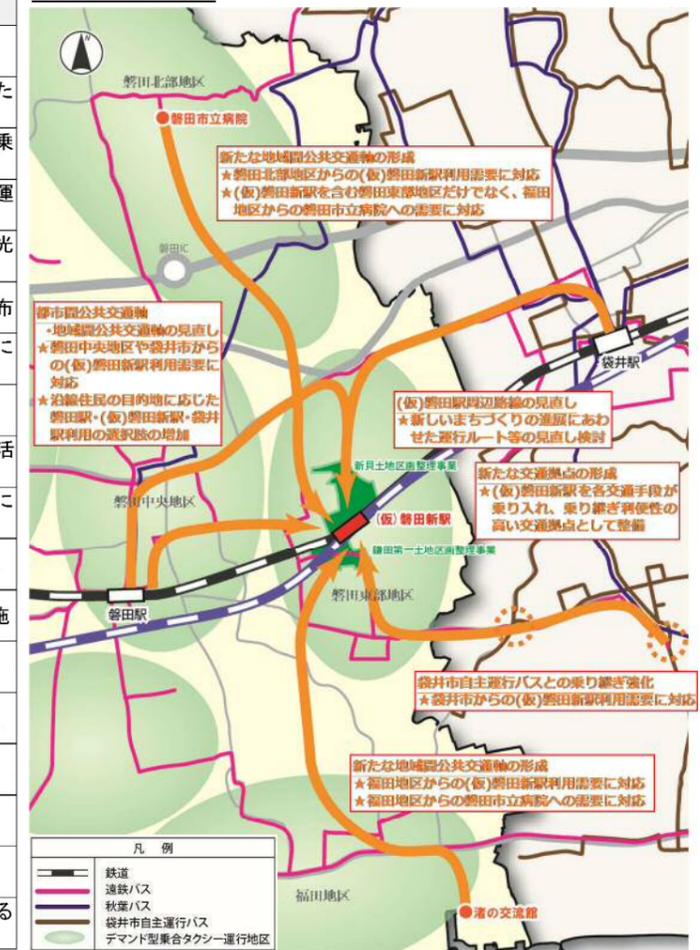
基本方針

事業の方向性

- (仮) 磐田新駅の整備や新たなまちづくりに対応した地域公共交通網の再編
- 多様化する利用者ニーズに柔軟に対応した運行への改善
- 分かりやすい情報提供による利用促進
- 人と環境にやさしい地域公共交通への改善
- 地域で創り、支える仕組みづくり
- 全市的な取り組みの推進

事業の方向性	実施事業
(仮) 磐田新駅の整備や新たなまちづくりに対応した公共交通網の再編	(1) (仮) 磐田新駅の整備 (2) (仮) 磐田新駅を交通拠点とした地域公共交通網の見直し (3) (仮) 磐田新駅における快適な乗り継ぎ環境の形成
多様化する利用者ニーズに柔軟に対応した運行への改善	(1) 地域特性や利用特性に応じた運行改善 (2) イベント等地域の活性化や観光と連携した運行方法の検討
分かりやすい情報提供による利用促進	(1) 分かりやすい時刻表の作成、配布 (2) 地域等と連携した多様な手段による周知活動の展開 (3) 多様な媒体による情報提供 (4) イベント等の場を活用した周知活動の展開
人と環境にやさしい地域公共交通への改善	(1) ユニバーサルデザインや環境に対応した車両への更新 (2) 料金負担の軽減による利用促進 (3) モビリティ・マネジメントの実施 (4) 乗務員研修の実施
地域で創り、支える仕組みづくり	(1) 磐田市地域公共交通会議の開催 (2) 利用促進検討会の開催 (3) 快適なバス待ち環境の創出 (4) 賛助・協賛金事業の展開
全市的な取り組みの推進	(1) 磐田市の地域公共交通に関する基本方針(計画)の策定

見直しイメージ



本編 P101～102

計画の進め方

年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
計画の立案	計画策定					計画見直し
計画の実施		事業実施				
計画の評価		進捗	進捗	進捗	進捗	事業評価
計画の改善						事業内容・対応等
備考				(仮) 磐田新駅 開業(年度末)		